

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立小田川小学校長

平成31年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数の2教科を実施しました。

昨年度までは、「国語A」、「算数A」（主に知識に関する問題）と「国語B」、「算数B」（主に活用に関する問題）に分けて実施してきましたが、今年度より、それらが1つにまとまった調査を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、並びに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることを御理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	63.8%	○				
算数	66.6%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	72.3%	○				
書くこと	54.5%	○				
読むこと	81.7%	○				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	53.5%	○				

【考察】

- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢字を文の中で正しく使って書くことはできていましたが、ことわざの意味を理解して活用することに課題が見られました。今後は、普段の学習や生活の場面で見つけたことわざや慣用句について辞典などで意味や使い方を確認し、実感をもって捉えたり使ったりできるように指導していきます。
- 「書くこと」では、情報を相手に分かりやすく伝えるための工夫については理解していましたが、調べたことを報告する文章に用いられている図や表、グラフなどの目的を考えることに課題が見られました。今後は、図や表、グラフを用いた筆者の目的やその効果を理解し、自分にとって考えを深めやすく、読み手にとっても理解しやすいなどの表現の工夫を自分の文章に生かしながら書くことができるような場面を作っていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	63.2%	○				
量と測定	52.9%	○				
図形	76.7%	○				
数量関係	68.3%	○				

【考察】

- 「数と計算」では、ひき算に成り立つ性質を基にわり算に成り立つ性質を考える問題はできていましたが、たし算とかけ算の交ざった整数と小数の計算については課題がありました。今後は、計算の順序を誤ると式の意味が異なることに気付くことができるように指導していきます。
- 「数量関係」では、乗り物券を買う順番がくるまでの時間を求めるために、必要な情報を選択することができました。しかし、示された場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に「所要時間の求め方を言葉や式を用いて記述すること」や「条件に当てはまるかどうかを判断すること」に課題が見られました。今後は、日常生活の中から問題場面を想起させ、示された条件に応じて問題解決を図ることができるよう、授業の中でくり返し指導していきます。

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立小田川小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、是非、御家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえはしている	あまりしていない	全くしていない
小	全 国	33.1	38.4	23.0	5.5
6	小田川小	28.6	42.9	21.4	7.1

(単位 %)

【考 察】

- 自主学習を毎日提出することや、家庭学習カードにも自主学習のめあてと反省を記入する欄を取り入れたことにより、自分で計画を立てて取り組む児童が多く見られました。
- 「自主学習ノート掲示コーナー」を設け、友だちの自主学習ノートを参考にすることで、自分なりの学習方法を見つけたり、自主学習の内容を考えたりすることにつながっていると考えられます。また、学区内にある中学校と連携し、中学1年生の自主学習ノートを児童に見せることにより、意欲をさらに高めることができましたので、今後も継続し一層の充実を図っていきます。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	12.4	16.9	36.8	24.1	7.6	2.3
6	小田川小	14.3	28.6	21.4	28.6	0.0	7.1

(単位 %)

【考 察】

- 「家庭学習カード」に家庭学習や自主学習に取り組んだ時間を記入し、保護者が確認することを継続してきましたので、ほとんどの児童が毎日家庭学習にきちんと取り組むことができているようです。今後も、さらに家庭と連携を図りながら取り組んでいきます。
- 「ノーメディア運動」の推進により、学習時間の確保と充実に向けてきたことがよい結果につながっています。今後も「ノーメディア運動」を一層推進し、福島県教育委員会発行の「家庭学習スタンダード」や本校独自の「家庭学習の手引き」を基に、児童の実態に応じた宿題や課題等をさらに工夫していきます。

3 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小	全国	7.0	11.3	21.5	25.9	15.6	18.7
6	小田川小	14.3	7.1	42.9	14.3	14.3	7.1

(単位 %)

【考 察】

- 登校してから始業時刻までを「読書タイム」とし、落ち着いたオルゴール曲をBGMにして読書に取り組んだり、読みかけの本を机の脇の袋に入れ、いつでも取り出せるようにしたりしていることが、読書の習慣化に結び付いていると考えられます。今後も、家庭でどんな本を読んでいるのかをお子さんと話題にさせていただけると、さらに意欲が高まると思われます。
- 学校司書と連携し、学年ごとに読んで欲しい本を「必読書」として設定したり、利用しやすいように、図書室の掲示や分類をしたりしていることが、読書への意欲に結び付いていると考えられます。今後も、毎月たくさんの本を読んだ児童を表彰したり、学校司書に読み聞かせやブックトークを依頼したりして読書への意欲を高めていきます。

4 朝食を毎日食べていますか。

		している	どちらかといえ ばしている	あまり していない	全く していない
小	全国	86.7	8.6	3.6	1.0
6	小田川小	92.9	7.1	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 毎週火曜日の健康生活調べや朝食を見直そう週間などで、朝食を食べているかどうかを調べることを継続し、朝食の大切さについて指導してきましたので、意識が高まり、ほとんどの児童が毎日朝食をきちんと食べることができています。今後も、家庭と連携を図りながら取り組んでいきます。
- 朝食を食べることができていても、主食のみの児童も見られました。今後も、副菜や汁物など朝食の内容についても考えることができるように、学校給食センターの栄養教諭を外部講師に招いて担任や養護教諭と連携しながら、家庭科や学級活動の学習と関連付けて指導していきます。御家庭の協力をよろしくお願いします。